

評価対象年度	平成24年度	施策評価シート(震災復興用)		政策	5	施策	3
施策名		3 上下水道などのライフラインの復旧		施策担当 部局	環境生活部, 土木部, 企業局		
「宮城県震災復興計画」における体系	政策名	5 公共土木施設の早期復旧 【公共土木施設】		評価担当 部局 (作成担当 課室)	土木部 (下水道課)		

施策の方向 (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	① 下水道の整備
	② 上水道, 工業用水道の整備

◇ 機能が停止した流域下水道の3処理場(仙塩, 県南, 石巻東部)における処理機能を早急に復旧する。
◇ 被災時においても汚水排除の基本機能を確保し, 代替処理機能を備えるなど, 迅速に復旧できる施設とするとともに, 下水汚泥をエネルギーとして再利用するなど, エネルギー循環型の下水道システムを構築する。

◇ 応急仮復旧箇所の本復旧を行うとともに, 震災被害の検証や危機管理体制の再構築の検討を行い, 施設の耐震化や緊急時のバックアップ体制の整備を推進する。

決算(見込)額 (千円)	年度	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (決算(見込)額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	20,566,988	33,793,965	-

※決算(見込)額は再掲分含む

目標指標等	■ 達成度	A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で, 判定できない」				
	■ 達成率(%)	フロー型: 実績値 / 目標値 ストック型: (実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)				
		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)
1	被災した流域下水道施設の復旧率(%)	0% (平成22年度)	50% (平成24年度)	99% (平成24年度)	A 198.0%	100% (平成25年度)

平成24年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	50.7%	23.8%	I

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合50%以上
かつ不満群の割合25%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合50%未満
かつ不満群の割合25%以上

■ 施策評価（原案）	順調
-------------------	-----------

評価の理由	
目標指標等	・被災した下水道処理施設等について、公共土木施設災害復旧事業により施設復旧を行うにあたり、被災した流域下水道施設の復旧率を目標値として設定し、平成25年度までの3年間で完了する計画とした。
県民意識	・被災した上下水道などのライフラインの復旧は、身近な問題であり重要な施策として県民の約87%に重要であると認識されている。その復旧に対する満足度については約51%が満足群の回答をしており、不満群については約24%未満となっていることから、復旧が順調であると判断する。
社会経済情勢	・東日本大震災で県内の上下水道施設は甚大な被害を受けており、早期の復旧が強く望まれている。
事業の成果等	・被災した下水道処理施設等について、平成24年度末において7施設中の5施設について完全復旧し、残る2施設も平成25年度中の完全復旧目前であるため、順調に推移していると判断する。 ・下水道だけではなく、上水道、工業用水道及び廃棄物処理においても、全ての事業で成果が出ている。施策の目的である、東日本大震災により被災した下水道の復旧並びに上水道、工業用水道の復旧は、順調に推移していると判断する。

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・被災した下水道の復旧に向けて、今後も継続的な取組が必要である。 ・沿岸部の水道施設の復旧については、高台への集団移転等の計画が全て決定した後になるため、長期的な支援が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道においては、平成25年度内の復旧完了を目指して引き続き災害復旧事業を進めるとともに、緊急時の備えとして各種下水道事業の推進を図る。 ・水道施設においては、引き続き市町村等の復旧支援事業の継続を図る。

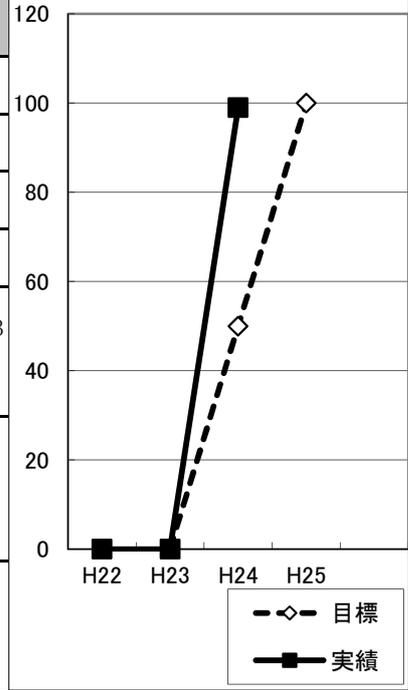
評価対象年度 平成24年度

政策 5 施策 3

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型:実績値/目標値 ストック型:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	被災した流域下水道施設の復旧率(%) [ストック型]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	-
目標値		-	0	50	100	-	-
被災した流域下水道施設の復旧した割合	実績値	0	0	99	-	-	-
	達成率	-	-	198.0%	-	-	-
目標値の設定根拠	・被災した下水道処理施設等について、公共土木施設災害復旧事業により施設復旧を行うにあたり、被災した流域下水道施設の復旧率を目標値として設定し、3年間で完了する計画とした。						
実績値の分析	・平成24年度は、7か所の処理場中5か所で復旧が完了した。また、全ての災害復旧工事を発注しており、一部繰越した工事が平成25年度内に完了見込となっていることから、目標は達成したと考えている。 ・平成24年度実績値は、事業費執行率(平成25年度への繰越額を控除した額を、全事業費で割り戻した率)で算定した。						
全国平均値や近隣他県等との比較	-						



評価対象年度 平成24年度

政策 5 施策 3

県民意識調査結果									
調査実施年度 (調査名称)			平成24年度 (平成24年県民意識調査)		平成25年度 (平成 年県民意識調査)		平成 年度 (平成 年県民意識調査)		
県 全 体	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	61.2%	87.1%				
		やや重要		25.9%					
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	3.0%	3.9%				
		重要ではない		0.9%					
		分からない		9.0%					
		調査回答者数		1,929					
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.4%	50.7%				
		やや満足		39.3%					
		やや不満	不満群 の割合	17.9%	23.8%				
		不 満		5.9%					
		分からない		25.4%					
		調査回答者数		1,910					
沿 岸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	62.0%	88.5%				
		やや重要		26.5%					
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	2.7%	3.3%				
		重要ではない		0.6%					
		分からない		8.3%					
		調査回答者数		786					
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.1%	49.9%				
		やや満足		38.8%					
		やや不満	不満群 の割合	17.8%	24.8%				
		不 満		7.0%					
		分からない		25.3%					
		調査回答者数		774					
内 陸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	60.8%	86.3%				
		やや重要		25.5%					
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	3.2%	4.3%				
		重要ではない		1.1%					
		分からない		9.5%					
		調査回答者数		1,135					
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.7%	51.2%				
		やや満足		39.5%					
		やや不満	不満群 の割合	18.1%	23.3%				
		不 満		5.2%					
		分からない		25.5%					
		調査回答者数		1,129					

※ 沿岸部 : 沿岸15市町
内陸部 : 沿岸部以外の市町村

評価対象年度	平成24年度
--------	--------

政策	5	施策	3
----	---	----	---

宮城県震災復興推進事業

評価番号	事業番号	事業名	平成24年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
1	① 01	公共土木施設災害復旧事業(下水道)	25,166,697	被災した下水道処理施設等について、公共土木施設災害復旧事業により施設復旧を行う。				・公共土木施設災害復旧事業(7流域) 7流域中、5流域で復旧が完了 災害復旧事業について事業費ベースで99%が完了。繰越した残り1%もH25年内完成見込			
		土木部 下水道課		ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
			①必要性		②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	効率的	維持	—	12,883,090	25,166,697	—	
2	① 02	地震対策下水道事業	50,599	震災時の生活を支えるライフラインの機能を確保するため、流域下水道の処理場や管渠などの施設の耐震化を推進する。				・下水道長寿命化支援制度の創設に伴い、地震対策は①03流域下水道事業の中の長寿命化工事として行うこととなった。 ・H24年度決算額はH23年度繰越の管渠耐震化のみであり、事業は完了している。			
		土木部 下水道課		ビジョン 取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
			①必要性		②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	効率的	統合	—	160,985	50,599	—	
3	① 03	流域下水道事業	2,907,278	流域下水道の流入量の増加と施設の老朽化に対応するため、整備を行う。				・流域下水道事業(7流域) ・H24は7流域中5流域で、処理場・ポンプ場・管渠の増設・改築・長寿命化工事を実施。			
		土木部 下水道課		ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
			①必要性		②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	効率的	維持	—	161,065	2,907,278	—	
4	① 04	流域下水道事業(維持管理)	5,285,832	清潔で良好な生活環境の確保と水質の保全を図るため、流域下水道施設の適切な維持管理を行う。				・県内7流域の維持管理指定管理者制度による維持管理。 仙塩流域下水道施設 阿武隈川下流域下水道施設 鳴瀬川流域下水道施設 吉田川流域下水道施設 北上川下流域下水道施設 迫川流域下水道施設 北上川下流東部流域下水道施設			
		土木部 下水道課		ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
			①必要性		②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	効率的	維持	—	3,300,486	5,285,832	—	

5	① 05	流域下水道事業 (調査)	15,241	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		自然災害に対してより強固かつ柔軟な対応が可能となる生活排水処理基本構想や流域別下水道整備総合計画を策定するため、被災状況等の調査を実施する。				・仙塩および阿武隈川流域別下水道整備総合計画の策定に着手(～H26)。 ・各流域において認可計画の見直し。					
		土木部 下水道課	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	15,241	-
6	① 06	廃棄物処理施設 災害復旧事業	-	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		震災で被害を受けた一般廃棄物処理施設及び市町村設置型浄化槽の復旧を図るため、国庫補助金交付制度を有効に活用できるよう市町村に対し支援する。				・被災市町村等からの国庫補助申請の受付及び国への進達。 ・一般廃棄物処理施設 7市町村等, 23施設 ・市町村管理型浄化槽 10市町村					
		環境生活部 震災廃棄物対策課	1②①再掲 ビジョン 関連:取組28	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	-	廃止	-	-	-	-
7	② 01	広域水道施設 災害復旧事業	184,543	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		安全な水道用水を安定的に供給するため、震災で被害を受けた管路、施設等について本格復旧を行う。				・平成24年度に繰り越した本復旧箇所(平成23年度内にすべて着工)について、すべて工事が完了した。					
		企業局 水道経営管理室	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	廃止	-	250,769	184,543	-
8	② 02	工業用水道施設 災害復旧事業	123,965	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		工業用水を安定的に供給するため、震災で被害を受けた管路、施設等について本格復旧を行う。				・平成23年度からの繰越工事となっていた2か所について、平成24年度に完了し、震災による被害箇所全ての復旧を完了した。					
		企業局 水道経営管理室	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	廃止	-	219,332	123,965	-
9	② 03	水道施設復旧事業	126	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		震災で被害を受けた市町村所管の水道施設について復旧支援を行う。				・津波による被害を受けた沿岸部の11水道事業体の災害査定の実施を行ったところ、693億円を超える補助金が交付される見込みである。					
		環境生活部 食と暮らしの安全推進課	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	2,266	126	-
10	② 04	広域水道緊急時 バックアップ体制 整備事業	-	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		安全で安定的な水道用水の供給を図るため、緊急時におけるバックアップ用の連絡管や他事業との連結管などの整備を行う。				・大規模事業評価(計画評価)を実施し、妥当であるという評価を得た。					
		企業局 水道経営管理室	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	-	維持	-	-	-	-

11	② 05	工業用水道基幹 施設耐震化等事 業	59,684	事業概要		平成24年度の実施状況・成果				
				工業用水を安定的に供給するため、管 路、施設等の基幹水道構造物について耐 震化工事や緊急時におけるバックアップ用 の施設の整備を行う。		・大楯配水池の制水弁4か所中、3か所まで完 了。残り1か所は、H25で完了予定。 ・耐震化診断は、仙塩・熊野堂配水池、仙台圏・ 熊野堂配水池、仙台北部・桔梗平配水池を実 施した。				
	企業局 水道経営管理室	ビジョン 関連：取組31	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果が あった	効率的	拡充	-	-	59,684	-			
決算（見込）額計		33,793,965								
決算（見込）額計（再掲分除き）		33,793,965								

